

2020年度 決算・中期経営計画説明会 質疑応答要旨

お断り：この要旨は決算説明会での質疑をご参考として掲載するものであり、一部補足を含め簡潔にまとめさせていただきました。ご了承ください。

記

1. 開催日 : 2021年5月13日(木)
2. 場所 : 本社会議室
※TeamsによるオンラインLIVE配信

3. 質疑応答内容：

<Q1>

資料P.26)

新中期経営計画の事業環境からすると、SKSにとって追い風が吹いていると考えられるが、2021年度見通しにおいて、減益となっている理由を教えてください。

<A1>

2020年度に売上高1,100億円、経常利益50億円を超過できたのは、それぞれの案件が順調に進捗したこと、また、新型コロナウイルスの影響により活動経費の発生が想定より減少したからである。

2021年度においては、売上高が2020年度と比較して微減となること、活動経費を通常状態で見込んでいることにより、減益を見込んでいる。

また、カーボンニュートラルへの社会変革の中、追い風は吹いていると考えられるが、新中期経営計画の3年間でビジネスチャンスをしっかり見極めたい。

<Q2>

資料P.28)

2025年度の売上高が、1,300~1,400億円ということだが、セグメント別の割合を教えてください。

<A2>

2025年度の売上高におけるセグメント別の割合は、既存事業である水処理、廃棄物処理、化学・食品機械関連事業の3事業においては、概ね現行の比率が維持され、さらに新規分野の売上高が今よりも拡大していくイメージである。既存事業と新規分野、両方における成長を実現していきたい。

<Q3>

資料P.29)

新中期経営計画の基本方針の中で、成長分野への積極投資を行うとあるが、新中期経営計画3年間で計画している投資規模を教えてください。また前中期経営計画5年間の投資額についても教えてください。

<A3>

投融資としては、新中期経営計画3年間で200億円に近い投資規模を計画している。

なお、前中期経営計画5年間では、約80億円であった。

<Q4>

資料 P.30)

新中期経営計画の基本方針で、成長分野の積極投資として海外展開を挙げているが、現在の海外事業規模はどの程度なのか？また、今後どのくらい成長させていくのか具体的に教えて欲しい。

<A4>

現在は、売上高の5%程度であるが、2025年度には約2倍、10%近くまで成長させていきたいと考えている。

<Q5>

資料 P.32)

神戸製鋼所の中期経営計画説明会において、電力事業でのSKSとの連携がキーワードとなっていたが、内容について教えて欲しい。

<A5>

発電所でのバイオマス利用に向け、下水汚泥を炭化させる当社技術により、下水汚泥を石炭代替燃料として有効活用する実証研究を神戸製鋼所と連携して進めている。

<Q6>

資料 P.34)

洋上水素製造・供給インフラ整備について検討を開始したとのことだが、現時点でどのような状況なのか。

<A6>

現時点では、再生可能エネルギー等を活用した水素製造供給船から水素燃料船への水素供給という基本的なコンセプトを決定した段階であり、今後の具体的な進め方については、協定書を締結した当社を含めた4社で検討していく。

<Q7>

資料 P.37)

ユーグレナ事業に関して、不安疲労に対する効果についてはプレス発表もあったが、コロナ禍における健康食品としての注目度、お客様の反応について教えて欲しい。

<A7>

「精神的疲労感の軽減」を表示内容とする機能性表示食品の消費者庁への届出が完了し、当社ユーグレナのパラミロンという成分が不安疲労に効き目があるという新聞広告を実施した。

「不安疲労」にも対応できる自社製品を近日販売予定であり、今後更に関心が増えると期待している。

以 上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在把握している情報、及び合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。